

様式第1（第3条関係）（表面）

和歌山県知事 様

令和〇〇年〇〇月〇〇日
届出日

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

住所（所在地）
〒
届出者の郵便番号、住所（所在地）

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
届出者の氏名（名称、代表者氏名）、電話番号
※届出者は会社の代表権を有する者。代表権を有しなくても、計画変更命令により計画を変更し得る権限を持った者ならば可。（必要に応じて委任状添付）

該当部以外に取消し線
※施設の新設（更新含む）：第5条第1項設置届
既存施設の構造や排水の量等の変更：第7条変更届

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		事業場の名称。	
工場又は事業場の所在地		事業場の郵便番号と所在地。	
第5条第1項関係	特定施設の種類	法施行令別表第1の施設番号及び名称。 届出済事業場（既存施設あり）の場合は「[既設]〇〇[新設]〇〇」等と記載。	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有害物質使用特定施設が1つでも有るなら「有」 ※温泉水利用は対象外	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	
	△特定施設の設備 （有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排水水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排水水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
第5条第2項関係	△排水水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
	有害物質使用特定施設の種類	※備考	
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統		別紙11のとおり。	

【参考】「第66号の3」の施設とは旅館（下宿営業を除く）に設置の以下。住宅宿泊事業（民泊）は対象外。
イ ちゅう房施設 調理用の設備、器具が配置され、その施設内において調理が行われる施設（業で使うものを指し、宿泊客による使用も含む）
ロ 洗濯施設 洗たく機、脱水機等が配置され、その施設内において専ら洗濯が行われる施設（業で使うものを指し、宿泊客による使用も含む）
ハ 入浴施設 入浴施設 浴槽を設け、人を入浴させる施設（浴槽のないシャワー室、足湯は対象外）
※施設番号
※調査結果
取消し線追加（添付不要）
取消し線追加

【備考：第5条第3項の関連施設とは】※本紙では対象外
 ・有害物質貯蔵指定施設
 ・雨水を含め公共用水域に排水のない事業場の有害物質使用特定施設

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	<div>別紙12のとおり。</div> <div>別紙13のとおり。</div> <div>別紙14のとおり。</div> <div>別紙15のとおり。</div>	<div>取消し線追加</div>
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造			
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備			
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法			
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統			

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

有害物質取り扱いリスト

工場・事業場名称	記入担当部署（又は担当者）	連絡先 TEL
様式第1(表書き)記載の「工場又は事業場の名称」。	様式第1(表書き)右下記載の「担当部署等」。	様式第1(表書き)右下記載の「担当部署等」のうち連絡先。

有害物質	該当すれば「○」を記入		取り扱い期間 (有害物質の取り扱い開始から 終了まで)
	特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) での取り扱い	特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 以外での取り扱い	
四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
1,2-ジクロロエチレン			
1,3-ジクロロプロペン			
ジクロロメタン			
テトラクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
ベンゼン			
カドミウム及びその化合物			
六価クロム化合物			
シアン化合物			
水銀及びその化合物			
セレン及びその化合物			
鉛及びその化合物			
砒素及びその化合物			
ふっ素及びその化合物			
ほう素及びその化合物			
シマジン			
チオベンカルブ			
チウラム			
ポリ塩化ビフェニル (PCB)			
有機リン化合物（注1）			
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物			
塩化ビニルモノマー			
1,4-ジオキサン			
これら上記の全有害物質を取り扱っていない場合は右の空欄に○をご記入ください。			○

上記有害物質の取扱いがなければ「○」
※取扱いがある場合は、必要書類が追加で必要ですので
別途相談ください。

- 注1 有機リン化合物とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、EPNをいう。
 注2 有害物質を取り扱うとは、有害物質を製造、使用、処理又は貯蔵する等をいう。
 注3 取り扱う有害物質がある場合は、さらに「有害物質の取り扱い状況」に記入が必要です。
 注4 過去に取り扱っていた、または今後使用等する有害物質すべてについて記入すること。

別紙1 ※特定施設の個別情報(寸法等)を記載するページ

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	特定施設の名前や特定するための番号等。 ※図面類と整合確認！
特定施設号番号及び名称	法施行令別表第1に該当する施設番号及び名称。
型 式	メーカー名・規格の番号等。 ※概要が分かる設計図・仕様書・カタログ等を別途添付。
構 造	主要な材質・構造。
主 要 寸 法	施設全体の外形寸法又は主要部の寸法。
能 力	施設を1日最大限稼働させた場合の能力等。
配 置	原則「別添平面図のとおり」とし、特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置が分かる図面等を添付。 特定施設については、色分けする等して他の施設と区別すること。
設 置 年 月 日	届出済み施設の設置日。※新設なら空欄。変更のない届出済み施設は以下3行空欄。 ※既存施設を用途変更して特定施設にする場合も、実際の設置日を記載ください。
工事着手予定年月日	設置(変更)する特定施設の工事着手予定日。 ※必ず、届出から60日以上先の日で記載ください。(窓口受付日+61日) ※既存施設を用途変更して特定施設にする場合も、同様。
工事完成予定年月日	上欄記載日＋工期で、完成予定日。 ※既存施設を用途変更して特定施設にする場合は、上欄と同日。
使用開始予定年月日	上欄記載日以後で、使用開始予定日。 ※上欄と同日可。
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・複数基設置する場合は設置数を記載する。 ・既存施設を用途変更して特定施設にするする場合も、その旨記載。(例：既存の台所を旅館業で使用する場合)

【注】

- ・本届出は施設を設置しようとする60日以上前までに提出する必要があります。
- ・「設置しようとする」は工事着手日を指します。既存施設活用(工事が不要でない)の場合も、事業に関する着手の60日以上前までに届出ください。
- ・60日以上前までに届出していない場合、早急に工事を中断し、届出のうえ、審査の終了をお待ちください。

別紙2 ※特定施設の個別情報(汚水の量等)を記載するページ

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	・別紙1と同内容。	
特定施設号番号及び名称	・別紙1と同内容。	
設置場所	・原則「別添平面図のとおり」とし、上記施設の配置がわかる図面を添付する。	
操業の系統	・原則「別添操業系統図のとおり」とし、施設を含む操業系統(フローシート)を添付。 ※別紙6に記載したフローシートでわかる場合「別紙6のとおり」でも可。	
使用時間間隔	・1日における通常の使用開始時間と使用終了時間。	
1日当たりの使用時間	・1日当たりの使用時間。	
使用の季節的変動	・施設の使用時間、使用方法に季節的な変動がある場合その内容。	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	・施設で使用する原料、薬品等の種類等(燃料は除く)。	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常
	<p>・当該特定施設から排出される汚水について、排出される可能性のある種類・項目の1日の濃度の通常値及び最大値。</p> <p>・「種類・項目」は原材料等から排出されるおそれのあるもの(副生成物等を含む)を記載し、<u>排水基準が適用されない項目は記載する必要はありません。</u> ※詳細は別紙4のページ参照</p> <p>【ほう素、ふっ素を含む温泉水利用の場合】</p> <p>・温泉分析書を届出に添付のうえ、ふっ素、ほう素濃度を計算ください。</p> <p>・ほう素濃度[mg/L]=(メタほう酸[mg/kg] ×密度[g/cm³]×0.2467+メタほう酸イオン[mg/kg] ×密度[g/cm³]×0.2525)×希釈率</p> <p>・ふっ素濃度[mg/L]=(ふっ化物イオン[mg/kg]×密度[g/cm³])×希釈率 ※希釈率：水道水等が加わらないなら「1」。加わるなら用水量から計算。</p> <p>・「その他の微量成分」の項目に検出された有害物質(ヒ素,鉛,水銀,カドミウム等)がある場合はその濃度も記載願います。</p>	
汚水等の量(m ³ /日)	通常	最大
	<p>・当該特定施設から排出される汚水の量の通常値及び最大値。 ※別紙6(フローシート)等との整合性チェック！</p>	
その他参考となるべき事項	<p>・施設を複数基設置する場合、上に記載した値が全基の合計値か1基あたりの数値かを記載する。</p> <p>・産廃処理業者に汚水処理を委託していること等、施設に関する特記事項も記載。</p>	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3 ※汚水処理施設の情報を記載するページ

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	<ul style="list-style-type: none"> 汚水処理施設の名前、特定するための番号等。 ※図面類と整合チェック！ 				
処理施設の設置場所	<ul style="list-style-type: none"> 原則「別添平面図のとおり」とし、汚水処理施設の配置がわかる平面図を添付。 				
設置年月日	<ul style="list-style-type: none"> 別紙1の記載方法と同じ（補正がとても多いので注意） 				
工事着手予定年月日					
工事完成予定年月日					
使用開始予定年月日					
種類及び型式	<ul style="list-style-type: none"> 施設の型式等を記載し、概要が分かる設計図・仕様書・カタログ等を添付。 				
構造	<ul style="list-style-type: none"> 主要な材質・構造。 				
主要寸法	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の外形寸法又は主要部の寸法。 				
能力	<ul style="list-style-type: none"> 施設を1日最大限稼働させた場合の能力。 				
処理の方式	<ul style="list-style-type: none"> 処理の方式。 				
処理の系統	<ul style="list-style-type: none"> 汚水処理施設の中での処理の流れについて記載。原則、資料を添付。 				
集水及び導水の方法	<ul style="list-style-type: none"> 施設から汚水等の処理施設に至る経路を図面に記載した資料を添付。 ※記載されていれば「別添平面図のとおり」で可。 				
使用時間間隔	<ul style="list-style-type: none"> 1日における通常の使用開始時間と使用終了時間。 				
1日当たりの使用時間	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たりの使用時間。 				
使用の季節変動	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用時間、使用方法に季節的な変動がある場合その内容。 				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	<ul style="list-style-type: none"> 処理施設で使う薬品等の1日あたりの使用量。 				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後
	量（m ³ /日）	<ul style="list-style-type: none"> 当該汚水処理施設に導入及び排出される水について、排出される可能性のある種類・項目の濃度の1日の通常値及び最大値。（主に別紙2記載の項目） 排水基準が適用されない項目は記載する必要はない。 ※別紙4の記載要領の注意書き参照 			
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	<ul style="list-style-type: none"> 処理により発生する発生残さの1か月間の種類別生成量。 				
排出水の排出方法	<ul style="list-style-type: none"> 排水の排出先。 				
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道へ接続する等、事業場に汚水処理施設がない場合は「処理施設なし」と記載する。（当ページはこの欄以外全て空欄になる） 				

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙4 ※事業場からの排水の出口(排水口)の情報に関するページ。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		<ul style="list-style-type: none"> 排水口の番号又は名称。 添付する平面図にも当該排水口の位置を記載すること。 	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大
	<ul style="list-style-type: none"> 各排水口から排出される水について、排出される可能性のある種類・項目の濃度の1日の通常値及び最大値。(主に別紙2,3記載の項目) 排水基準が適用されない項目は記載する必要はありませんが、排水水に含まれ得る項目は必ず記載ください。(ふっ素、ほう素を含む温泉水等) 雨水専用排水口もあれば記載ください。 		
	<p>【注】ここで記入した項目で、排水基準が適用されるものは <u>1回/年以上の自主測定(温泉旅館の一部項目は1回/3年以上)</u> が必要です。 その他の項目も必要に応じて測定し、測定結果は3年間保存ください。</p>		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大
		<ul style="list-style-type: none"> 各排水口の1日の排水水の水量の通常値(平常運転量)及び最大量(年間最大運転量)。 ※別紙6(フローシート)等と整合性チェック！ 雨水専用排水口もあれば記載。(水量は0扱い) 	
その他参考となるべき事項		<ul style="list-style-type: none"> <u>公共下水道へ接続する等、公共用水域へ排水しない排水口は、当該欄に必ず記載する。</u> 雨水の排水方法についても必要に応じて記載する。 例1：雨水は地面に浸透させる 例2：雨水は地表を通じ、事業場周囲の道路側溝へ排水する 	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	<div>・用水・排水のフローシートについて図示。書ききれない場合は「別紙系統図のとおり」とし、系統図を別途添付する。</div> <div>・特定施設は必ずほかの排水と区別し記載。</div> <div>・水量についても系統別に色分けする等区別して記載する。</div>		
	用途別 用水使用量	使 用 水	用水使用量 (m ³ ／日)
	用途別に生活雑排水等の区分を記載	用水の種類を記載 【例】水道水、地下水、 温泉水	水量の内訳を記載

【添付する図面】

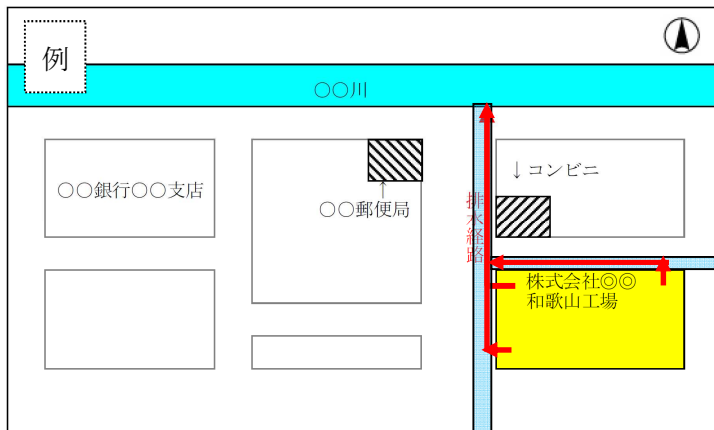
※各図面には届出の記載に対応したタイトルを記載(「図〇〇」等)

①平面図



- ・ 特定施設や污水处理施設のほか、主要施設が記載された図面を準備し、以下を明示する。
 - ・ 事業場内の排水の流れ
 - ・ 特定施設(有害物質関連施設ならその旨明記)、污水处理施設、排水口の位置
 ※別紙1～6に記載の名称と合わせること。
 - ・ (明確でない場合) 事業場の境界

②付近見取り図



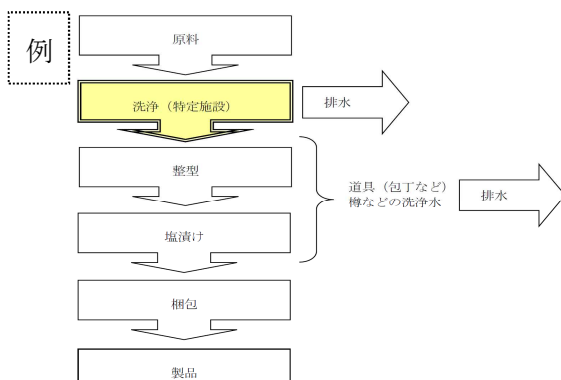
- ・ 当該事業場の排水(雨水を含む)が、周辺の主要河川や海域に到達するまでの排水経路を必ず追記。
- ・ 第三者が当該地図を頼りに事業場まで到達できるよう作成。必要に応じて目標物も記載ください。

③特定施設、污水处理施設の構造を示す書類

- ・ 設計図、仕様書、カタログ、手書きの図、写真等、その施設の仕様や構造のわかる書類に、施設名称(別紙1, 2の一番上の行に記載の名前)を追記して作成。
 (浄化槽については、人槽等の情報が記載された保守点検記録の写しでも可)
- ・ 温泉水を利用する事業場は温泉分析書も添付ください。



④施設の操業系統図(フローシート) ※(特に製造業の場合)必要に応じて添付



- ・ 特定施設の使用工程を含めた、排水の出る工程を明記したフロー図。
- ・ 事業概要が明確でない場合は、設置(変更)に関する概要(理由)書も添付ください。